



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

いちはやく 189「だれか」「じゃ なくて」「あなた」から

児童虐待防止推進月間

虐待されている子どもたちを守ることができるのは「あなた」かも知れません。つなげてください、「子どもたちの声」を。

問い合わせ 子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700）

11月は児童虐待防止推進月間で、児童虐待とは、子どもを守るべき立場の保護者が、子どもに心理的・身体的な危害を加えたり、衣食住のケアを行わないなど、子どもの心身を傷つけ、健やかな成長・発達を損なうことです。

しつけと虐待は違う

しつけは、子どもが自分で感情や行動をコントロールできるように、大人が教えることで、虐待は、子どもの行動を暴力などでコントロールすることです。親はしつけのつもりでも、子どもにとって有害な行為であれば虐待です。

虐待を知らせるSOSサイン

虐待を防止するためには、早い段階で発見し、対応することが重要です。体罰は法律で禁止されています。

子ども

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴っている声が聞こえる
- 不自然な外傷（あざ、打撲、やけどなど）がある
- 衣類や身体が極端に不潔である
- 食事に異常な執着を示す
- ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定である
- 表情が乏しく活気がない

SOSサインを見逃さないで！

保護者

- 地域や親族などと交流がなく、孤立している
- 小さい子どもを家に残したまま、よく外出している
- 子どもの養育に関して拒否的、無関心である
- 子どもを甘やかすのは良くないと強調する
- 子どもに対して拒否的な発言をする
- 気分の変動が激しく、子どもや他人にかんしゃくを爆発させることがある

▽SOSサインを見つけたら

児童相談所 全国共通ダイヤル
(お近くの児童相談所につながります)

いち はやく
189
24時間

帯広市児童虐待防止110番
21-0110

※連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

相談窓口

子育て世代包括支援センター
(子育て支援課内、☎25・9700)
帯広児童相談所 (☎22・5100)

子育てに役立つ情報を掲載しています

▲市ホームページ

▲すこやかネット

しつけと称して子どもをたたいたり、怒鳴ったりすることは、子どもの成長にとって悪影響となる可能性があります。体罰によらない子育て「愛の鞭」を進めましょう。

愛の鞭 ゼロ 作戦

- * 子育てに、体罰や暴言を使わない。
- * 子どもが、親に恐怖心を持つとSOSを伝えられない。
- * 爆発寸前のイライラをクールダウン。
- * 親自身がSOSを出そう。
- * 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援する。

ひとりで悩まないでみんなで子育てしよう

子育ての悩みは誰にでもあります。ひとりで悩まず、まずは、信頼できる人や相談機関へ話してみましょう。

帯広市や児童相談所は、通報を受け付けるだけでなく「子育てがづらい」「子どもの気持ちがかかからない」などの相談にも応じています。

表 休日・夜間の救急医療機関・救急当番医・小児救急医療の案内

救急医療機関				
診療日	診療時間	病院名	診療科	問い合わせ
平日	19時～21時	夜間の当番医	内科・小児科	※1
	21時～翌朝8時	休日夜間急病センター	内科・小児科	柏林台西町2、☎38・3700※2
日曜日・祝日・年末年始	9時～17時	休日の当番医	外科系	※1
	19時～21時	夜間の当番医	内科・小児科	※1
	9時～17時 21時～翌朝8時	休日夜間急病センター	内科・小児科	柏林台西町2、☎38・3700※2

※1 当番医は以下の病院案内サービスに問い合わせるか、帯広市医師会のホームページをご覧ください。
※2 夜間診療の混雑により、午前8時45分の休日診療受付開始に支障が見込まれる場合は、夜間診療の受付終了時間を早め、休日診療へご案内する場合があります。

病院案内サービス	電話番号	携帯電話から	受付時間
帯広市急病テレホンセンター	☎26・1099	同左	平日・日曜日・祝日：16時～22時 土曜日：12時～21時 上記以外の時間帯は、音声案内となります。 年中無休
北海道救急医療情報案内センター	☎0120・20・8699	☎011・221・8699	24時間・年中無休 医療機関案内サービスのみで、医療相談は行っていません。

帯広市医師会ホームページ
HP▶<http://www.obihiro-med.or.jp/>
帯広市医師会

休日・夜間救急医療当番案内

救急歯科医療				
病院名	電話番号	所在	診療時間	診療科
十勝歯科保健センター	☎25・2172	東7南9	日曜日・祝日：9時～13時 年末年始・ゴールデンウィーク：9時～16時	歯科

子どもが急病！病院へかかる前に…

医療情報サービス	問い合わせ先	受付時間	情報内容
日本小児科学会「こどもの救急」	HP▶ http://kodomo-qq.jp/ こどもの救急 <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>	24時間・年中無休	子どもの病気の症状から、簡単な対処法や診察前に確認しておくことなどを調べることができます。
北海道小児救急電話相談	☎011・232・1599 家庭のプッシュ回線または携帯電話からは、局番なし#8000	19時～翌朝8時 年中無休	直ちに救急病院にかかる必要があるか、家庭でどのような応急手当をすればよいかなど、アドバイスします。

地域救急医療の 適切な利用を

市民の命を守る救急医療

必要に応じて、必要な医療を安心して受けられるよう、救急医療機関を適切に利用し、受診する際は各施設の感染症対策にご協力ください。

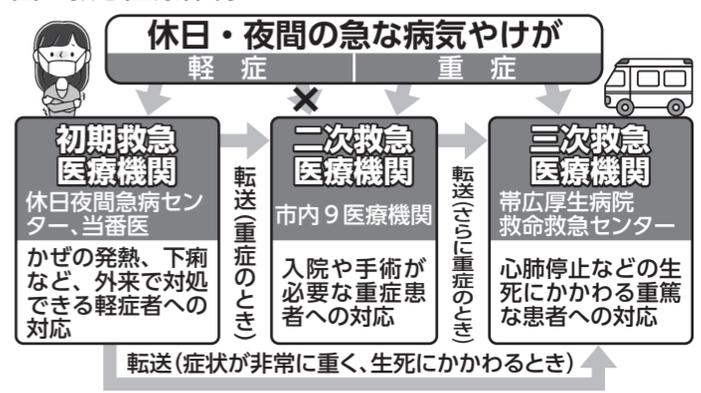
問い合わせ 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720）

帯広市では、休日や夜間に急に病気になる時でも安心して医療機関を受診できるように、症状の重さに応じて、救急医療機関の役割を三段階に区分して、救急患者に対応しています。(図)

救急医療機関の役割

休日や夜間の救急医療機関は、突発的な症状で、緊急処置が必要な患者が対象の受診窓口です。軽症者が二次・三次救急医療機関を受診する場合は、休日や夜間に急病になったときは、休日夜間急病センターを受診してください。休日夜間急病センターで対応していない時間帯や診療科目は、救急医療当番医が対応します。(表)

図 救急医療体制



緊急を要するときは

意識がない・呼吸困難・激しい胸痛や頭痛・多量出血・広範囲のやけどなどの緊急時は、迷わず119番通報しましょう。